



山ツツジ (田辺市伏菟野)



病院長 赤木 秀治

紀南病院の譲渡を受けて



昭和20年の終戦直後は紀南地方に病院施設は皆無の状態でありました。そのため関係市町村と農業会の協議のもと、農業会の出資により、地域住民のための病院として、昭和20年12月19日に「紀南病院」が病床数71床で開設されました。これが当院の始まりです。

昭和24年には、紀南病院附属看護婦学校(現紀南看護専門学校)を開設しました。

昭和27年には関係市町村が一部事務組合として公立紀南病院組合を設立して紀南病院の運営を開始しました。昭和33年には社会保険庁の管轄となり、「社会保険紀南総合病院」と改称され、公立紀南病院組合に経営が委託されました。

その後、病院の増改築を経て、平成17年5月、現在の田辺市新庄町に新築移転し、名称を「社会保険紀南病院」と改称し356床となりました。

平成20年10月、社会保険庁の組織改革により、独立行政法人年金・保健福祉施設整理機構(RFO)に出資されました。

そして平成26年3月12日に、RFOから公立紀南病院組合に病院が譲渡され、名実ともに自治体病院となりました。またこれを受け、病院名は「紀南病院」と改称されました。

こうして当院の歴史を振り返ってみると、当院は地域住民のために地域住民により設立され、以後も一貫して地域住民のための病院として充実発展してきたことが分かります。この度の譲渡により、当院は自治体が運営する地域中核病院としての立場がより一層明確になりました。

この度の譲渡に関しては、今後10年間は
①救急医療、災害医療及び周産期医療など和歌山県が地域の中核病院として必要と認める機能を維持すること
②看護専門学校を維持し運営することが条件となっています。

当院は、今後も自治体が運営する地域中核病院としての使命を果たすべく、①②の維持を含めて機能の充実を図り、より一層地域に密着して、地域住民の方に今まで以上に安心して利用して頂けるように努力してまいりますので今後ご指導ご鞭撻のほど、よろしくお願い申し上げます。

就任のあいさつ

本年4月から小野前院長の定年退職により、紀南こころの医療センターの病院長に就任致しました糸川秀彰です。私の様な経験の浅い者が、精神科救急を担う基幹病院である当院の院長職へ就くことはこれまで前例がなかったこともあり、皆様に多大な戸惑いを与えているのではないかと思います、申し訳なく感じております。



紀南こころの
医療センター
病院長 糸川秀彰

私は和歌山県立医科大学から当院へ平成7年4月に赴任して以降、他の病院に転勤する事なく当院で勤務しております。昨今言われている通り、地方の公立病院における医師不足については精神科においても例外ではなく、これまでも多くの医師が当院への勤務の後に都会など他の病院に転勤して行きました。その中で私は「長期に渡って医療との連携を要する機会が多い精神科に関わる患者の特性上、医師が頻繁に代わるのは患者のためにならず、そのため誰か一人でも同じ病院への勤務を続けるべき」と言うかなり「きれいごと」の様な言い方で恐縮ですが、自分なりの信念を持って、現在まで当院への勤務を続けていました。その結果、現在私以外の精神科の常勤医師はもちろん全員が有能であります、精神科医としての経歴に関しては皆が短い年数であるため、最終的に能力的には劣るであろう私が経歴だけは長期であるため、私を院長職に選ばざるを得なかったというのが真実かと思っております。

ただ、上記のようなことを述べて「院長としての業務を十分にこなせない」ことへの言い訳ができるはずはありません。65歳以上の高齢者の急激な増加により認知症を主とした精神疾患の増加があり、また若年～中年期においても、不況などによる社会不安の広がりからか、「うつ病」など精神に変調を来す例が急増しております。平成23年に厚生労働省が「地域医療の基本方針となる医療計画に盛り込むべき疾病」として、これまで指定していた「がん、脳卒中、急性心筋梗塞、糖尿病」の四大疾病に、新たに「精神疾患」を加え「五大疾病」とする方針を決定したのも、上記の実態を反映していることかと思えます。以上より紀南地区を中心とした地域での精神科医療が円滑に進むために、当院を支えて頂いている全職員は勿論、紀南病院ならびに他医の先生や職員の方々など日々の地域医療にご尽力されている皆様方のご協力も仰ぎながら、日々邁進せねばならないと思っております。

ただ今後、どうしても私の経験や知識不足から誤った選択をしそうになるかもしれません。その際は、躊躇なく適切な助言を頂きますよう、宜しくお願い申し上げます。

それでは簡単ではありますが、私の挨拶とさせていただきます。宜しくお願い申し上げます。

読み聞かせボランティア「わくわくパンダ」の活動が10周年を迎えました！



紀南病院内で読み聞かせボランティアをされている「わくわくパンダ」の活動が、この春10周年を迎えました。和歌山県難病・こども保健相談支援センター主催のプレイリーダー養成講座(現講習会)を修了された桐本さん、山本さんお二人が、月一回紀南病院内で病室等で読み聞かせをされています。

『当時紀南地方にプレイリーダーは3人しかおらず、少ない人数で何か活動を行いたいと考えていた所に、縁があり紀南病院に来る事になりました。あっという間に10年が経ちました。』

開始の際には院長先生の面談を受けただけでなく、健康診断の為にレントゲンまで撮ったのを覚えています。ボランティアの受け入れがまだ一般的でなく、病院側の態勢も整っていなかったのだと思います。

今は読み聞かせが主ですが、始めは本だけではなく、色々なおもちゃも持参して子供達と交流しました。

後日街中で、顔を覚えてくれている子供達から声をかけられる事もあり、そんな時は喜びもひとしお。子供達の笑顔が力の源。自分自身もお世話になった病院への感謝、恩返しなど、色々な意味を込めて活動する事ができています。』

と桐本さんの談。



読み聞かせをしている
桐本さん↑と山本さん→



取材当日も、訪室時は警戒して布団をかぶっていた子供達でしたが、途中からはお二人の話術に引き込まれ興味津々、笑顔満面になっていました。今後とも子供達の笑顔の為、活動よろしくお願い致します。

地域医療連携だより



まるクリニック

大浦 真紀先生と
医療スタッフの皆様



まるクリニック大浦真紀と申します。いつも紀南病院の先生方には何かとお世話になり本当に感謝しております。早いもので開院して2年が過ぎました。腎臓内科というなじみのない特殊なクリニックで、特に広告も出していないため、何をしているのかと思われる方も多いようです。子供の学校でも何してるの?と聞かれることもたびたびあったので、ここでご挨拶を兼ね紹介させていただきます。

腎臓内科は、蛋白尿や潜血尿といった腎疾患初期から、腎不全に至るまでを全般的に診療する科です。最近では8人に1人が慢性腎臓病と言われており、啓蒙活動が活発になってきています。腎臓病はかなり進行するまで、症状は出現しません。



健康診断で尿検査異常を指摘されてもなかなか病院での精密検査を受けようとする方が少ない理由はここにあります。

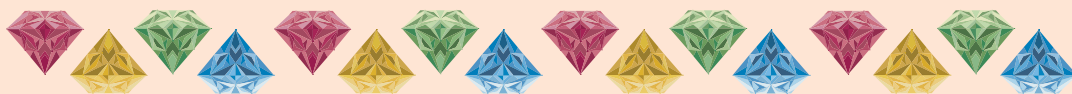
当院では週2回の外来と、週6日の血液透析を行っています。外来では、尿検査異常を指摘されたため受診される方や、専門外の先生方からのご紹介を受けて受診される方が少しずつ増えています。腎機能が悪化している方に、腎臓についての基本的なことから腎機能が悪化し腎代替療法が必要になった際の治療法について説明すると本当に時間がかかるため、少ない人数しか診療できていないのが現状です。

血液透析が必要になったかたは2階の透析室で治療を受けていただいております。現在透析器は27台あり、月水金2クール、火木土1クール行っていま

す。1回4時間から5時間の治療が必要です。患者様は、送迎を利用されている方がほとんどで、高齢の方が多いですが、入院施設がないこともあり、比較的元気な方が多いです。できるだけ合併症を少なくし、元気な透析生活を送れるようにスタッフと日々格闘しているうちに2年がたったという印象です。

4月からは、脳神経外科の外来が始まりました。こちらはまだ手探りです。日々少しずつ成長しながら、地域の皆様のお役に立てるようにスタッフ一同頑張っていきたいと思っております。ご指導のほどよろしくお願いいたします。

学校だより



第103回看護師国家試験 祝37回生全員合格!

2月16日(日)に37回生29名が受験し、前年度に引き続き無事全員合格しました。講義や実習では各病棟でご指導頂き、ありがとうございました。

第37回生 卒業式

3月3日(月)、29名がそれぞれの想いを胸に巣立って行きました。進路状況は、就職:紀南病院・紀南こころの医療センター19名・和歌山県内6名・県外2名、進学者2名(保健師1名・助産師1名)です。新しい職場での健闘を祈ります。

第40回生 入学式

桜咲き誇る4月8日(水)、40回生32名(男子7名、女子25名)の入学式を迎えることができました。人間愛と科学的根拠に基づいた看護ができる看護実践者を目指して、頑張ってもらいたいと思っております。



お知らせ

5月1日(木)、看護の日(5月はナイチンゲールの誕生日)に、学生・教員一同で田辺観光のボランティアガイド案内のもと、高山寺まで田辺散策に行く予定です。地元を知り、看護に関連させて自己を振り返る機会になればと思います。

病院のまど

第47回市民健康講座について

高血圧とは安静時の血圧が正常より高い状態を言います。

高血圧の状態を放置していると、動脈硬化を促進し、脳卒中や心疾患、あるいは慢性腎臓病などの重大な病気につながります。

「血圧が高め」とわかったら早めに受診し、治療を必要とする高血圧なのか、原因は

日時 平成26年5月18日(日)
午後2:00~3:00

演題 なるほどなっとく高血圧治療
～血圧をさげて元気で長生き～

演者 赤木 秀治(紀南病院病院長)

会場 紀南病院 3階講堂

編集後記

今年度から事務局を任され、今までただ何気なく読んでいたサザンクロスですがいざ自分が事務局を担当してひしひしと構成や原稿の依頼の苦勞が伝わってきます。

しかし、任された限りは周りの委員さんの力を借りながら従来通り発行していきたいと思しますので原稿をお願いする職員の皆さんご協力宜しくお願いします。

新年度に入り診療報酬改定も行われ病院業務としても変更される部分等多々存在し大変厳しい状況になるかもしれませんが、こんな時こそ一人一人が意識をし職員一丸となって切り抜け勝ち組(黒字病院)に入れるように頑張りましょう。

T・T記

daikoku 株式会社 大黒

本社：〒640-8525 和歌山県和歌山市手平 3-8-43

和歌山事業所	：〒641-0012 和歌山市紀三井寺855-71
紀三井寺事業所	：〒641-0014 和歌山市毛見 1111-1
大阪支店	：〒550-0002 大阪市西区江戸堀 3-5-27
南大阪支店	：〒594-0031 和泉市伏屋町2-16-11
紀南支店	：〒646-0011 田辺市新庄町3778-2
神戸支店	：〒650-0023 神戸市中央区栄町通5-2-6
奈良支店	：〒630-8115 奈良市大宮町4-295-10 奈良朝日生命川口ビル 1F
関西空港営業所	：〒590-0523 泉南市信達岡中919-1
新宮営業所	：〒647-0052 新宮市橋本 2-5-61
東京麹町オフィス	：〒102-0083 東京都千代田区麹町3-5-2 BUREX 麹町 301号
京都丸太町オフィス	：〒606-8395 京都市左京区丸太町通川端東入 東丸太町32-3 上田ビル 3F

DAIKOKU MEDICAL SUPPLY

保健・医療・福祉の分野で、

「生命を守る人の環境づくり」を通じて

地域の発展に貢献することが

私達の使命です。

 **SEIKO MEDICAL**
医療の先へ。セイコーメディカル株式会社

■本 社 〒640-8287 和歌山県和歌山市築港6丁目9番地の10 TEL. 073-435-2333 FAX. 073-435-2223	■田辺営業所 〒646-0011 田辺市 新庄町 2744 番地 TEL. 0739-25-4535 FAX. 0739-25-4578
■大阪支店 〒595-0012 泉大津市北畠中町2丁目5番28号 TEL. 0725-31-3610 FAX. 0725-31-3619	■新宮営業所 〒647-0072 新宮市 蜂伏 20 番 22 号 TEL. 0735-31-9130 FAX. 0735-31-9133
■阪大前営業分室 〒641-0012 和歌山県紀三井寺768番地の13 TEL. 073-448-3787 FAX. 073-448-3781	■奈良営業所 〒832-0082 天理市 荒崎町 56 番地の4 TEL. 0743-64-3607 FAX. 0743-64-4810